始め、今年四月には正規

昨年九月に相談を受け

がんの父をみとった

年後に膵臓

すいぞう

心しているけれざ、 度が一段落して家族も安 真田美さん(49)。「治 耳を傾ける相談員の野田 ない」という患者の話に なぜか落ち込んで仕方が

生み出せ人材力

院組織の中で機能するこ

座を開講。乳が

た受講生が、

講義で治

野田さんだが、内容によ の相談
実績が評価された かねない。患者会などで 思者を命の危険にさらし 間違った情報や助言は、 もできるわけではない

受け方を実践的に学ぶ。

医療の資格のない患者

階にある思者相談窓口

ばっとステーション 手術も終わったのに、

対応できるようになっ 者のあいまいな問題にも にならない不安や悩みを 談は三百件を超えた。形 の職員に 時間かかることも。原 異にする作業は、時に 同月までの相

さは分かっていない一

仕を知っていても、根深

一医師たちは問題の存

治療に訪れた患者や家族の相談に乗る野田真由美

県がんセンターだけ。必

らいたい一と話す。 は一私たちが結果を出し 病院に受け入れても き添う親が強いて

側が新病院像を描 の質(QOL)を 研究会も定期的に 会可能な病率など の人材育成につ 一世に近く」家族が にさらされる。 将来は病院で働 一と、思者家族で 同法人では患者

2007年6月27日 日経新聞

も加限される子供

かないためにきょ

闘病経験者の起用



千葉県がんセンターでは、相談員 として乳がん経験者(早期)を起 用。この画期的な取り組みに建設 的批判の声も・・・

- 乳がんの人に肺がんの気持ちが わかるのか。
- 早期がんの患者に再発患者の 不安な気持ちがわかるのか。
- 他の拠点病院に応用可能なの か。
- 大学病院など様々な疾患を扱う 病院で闘病 経験者を相談員と して雇用するとなると、何の病気 を患った人を雇えばよいのか。
- 多様な疾患をわずらった人を代 弁できるという意味で、有資格者 が対応することが現実的ではな いかと思うが、いかがか。



闘病経験を認定する動き



<認定乳がん体験者コーディネーター>

● 主催 NPO法人キャンサーネットジャパン

● 定義 乳がん患者・家族及び国民が「がん」と診断され直面する様々な問

題を、解決できる・あるいは解決に導く既存の信頼性の高い情報に

アクセスし、提供できる人材を養成する。特に、「認定乳がん体験

者コーディネーター」は、乳がん医療情報(治療法他に関する情報)

に特化したものとする。

● 対象 主たる治療(手術・放射線療法・薬物療法など)を終了した乳がん

体験者、乳がん患者を持つ成人家族など

● 受講料 12万円

▶ 定員 25名

● 終了後の就労 希望する者は、NPO法人キャンサーネットジャパンの独立部門:「が

ん情報ナビゲーター」・「認定乳がん体験者コーディネーター」部門 に所属し、今後、展開予定の「がん情報ふれあいサロン(仮称)」、外

部機関からの要請に応じ、派遣・業務にかかわることができる。